

令和4年第8回大河原町教育委員会定例会会議録

1 招集日時 令和4年8月18日(木) 午後1時00分

2 招集場所 大河原町役場 第一会議室

3 出席委員 舟山幸枝委員、一盃森広志委員、丹羽宜博委員、小山明子委員、鈴木洋教育長

4 説明のため出席した者

佐藤勝弘 教育総務課長、木村武俊 生涯学習課長、山家一博 学校教育専門監、

5 開 会 午後1時20分

6 令和4年第7回教育委員会定例会会議録の承認について

鈴木教育長 | (委員全員に諮って) 承認する。

舟山委員、小山委員 署名。

7 教育長報告

(1) 一般事務報告 なし

(2) 専決事務報告 なし

8 議 事

議案第29号 大河原町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況についての点検及び評価について

(生涯学習課長、教育総務課長より説明)

舟 山 委 員	3 ページ目。金ヶ瀬公民館の施設環境整備の充実とは、具体的にどのようなものか。ソフト面でどのような事業を行ったのか。
木村生涯学習課長	事業では、庭木剪定講座があり、人気ですぐに定員になる。コロナ禍により、公民館内での事業は人数確保が難しかった。
一盃森委員	11 ページ目。各種講座の事業を進める上で、人材の確保が課題。慎重に検討する必要がある。今後も力を入れて推進してほしい。 29 ページ目。ケアハウスの問題。評価の方法が難しい。不登校などをマイナスで捉えるのではない。学校に行かない子の学びの保障をどう取り組み、社会的自立を図っていくのかなどの評価方法が良い。ぜひ、このような視点で評価していただきたい。

鈴木教育長	<p>文科省の調査で、不登校の親子へ直接質問した結果。学校に行けないきっかけが先生にあるとの回答が約30%あった。教員が多様性に対応できていない。教員の子どもたちへの寄り添い方が課題であり、多様性に対して対応できる資質能力を身に付けていく必要がある。</p> <p>もう一点、学力保障や学習機会の保障をしてほしいとの意見があった。やはり、1人1人に対応したオンライン授業が必要。子供たちの夢・未来のため、学力保障や学習機会の保障は重要であり、専門の人材の確保が必要。</p>
舟山委員	<p>25ページ目。教員のICT活用。授業でパソコンのできない先生は厳しい評価である。ICTに精通することは、教員の資質となってきた。教員のICT活用指導力の向上が大事だと考える。</p>
佐藤教育総務課長	<p>教育委員会として、ICT支援員を配置しており、研修会を実施している。各校情報共有しながら進めている。</p>
山家専門監	<p>現在はICT支援員を配置しているので、教員は問題点をすぐに支援員に確認できる状況であり、教員のICT活用指導力も上がっている状況である。</p>
舟山委員	<p>ICT支援員は何名いるのか？</p>
佐藤教育総務課長	<p>各校あたり週に2回配置している。学校で大きな行事がある時は、支援員が集中して対応している。先生方がICT支援員と相談しながら授業に取り組んでいる。</p>
小山委員	<p>29ページ目。不登校の問題。中学生が増えており、将来に直接関わってくるので、まずは、図書館に本を借りに行くとか、勉強以外の学校に行ける環境づくりが大事。また、学校を休んだ時にタブレットを使って授業に参加できる環境を整えば良い。何を学ぶかが大事。</p> <p>17ページ目。朝食の話。保健だよりなどを通じて保護者へ広めてほしい。親の意識が変わらないと子供だけではどうしようもない。</p>
鈴木教育長	<p>やはり、家庭教育に少し干渉できるのは、学校しかない。学校の役割は大きい。</p>
小山委員	<p>学校の先生に対する意見の話。コロナの状況でなかなか先生に会えず、相談したいが、声も聞いたことがない。学級だよりのみで交流となっている。いろんな形で交流が図れるようになれば良い。</p>
鈴木教育長	<p>学校と家庭を繋ぐのは先生。繋がりを大事にする必要がある。各学校に伝えていきたい。</p>
丹羽委員	<p>15ページ目。全国調査の中で、「自分には良いところがあるか。」の部分。中学生で30%。先生はこれを見つけさせるようにするのが大事。心を包みこむことで、子どもは先生を信頼する。</p> <p>先生は子どもの良いところを見つけ褒めてあげるのが大事。寄り添う姿勢が大事。</p>

鈴木教育長 | (委員全員に諮って) 可決する。

9 その他

(1) 教育長報告(校長会資料による報告)

1 「語学っておもしろい！」(上白石萌音)

上白石さんは、語学が堪能で、英語は「語彙」と「文法」と「パッション」で伝えることが大切と語る。小学生の英単語の語彙を身に付けてほしい。

2 全国学力・学習状況調査について

(1) 令和4年度全国学力・学習状況調査の結果

(2) 令和4年度全国学力・学習状況調査問題(国語、算数・数学、理科)の解説

県内ではトップクラスの成績である。ぜひ「過去問集」を積極的に活用していただきたい。

(3) 『学力テスト全国最下位からの脱出』(諸見里明)

沖縄県の諸見里教育長の話。学力テスト全国最下位から脱出しようと懸命に取り組んだ記録である。本書には「学校意識、教職員の意識を変える」というフレーズが多く出てくる。意識改革をどのような覚悟で進めたか、とても参考になる。

(4) 『学力向上に向けた5つの取組の徹底』(大河原町教委)

学力向上に向けた5つの事項を最後まで徹底してやり抜くことが重要である。

- ①対話的学びのある授業の充実
- ②短作文等の書く活動を取り入れた授業の工夫
- ③全国学力・学習調査問題(過去問)の活用
- ④読書の奨励
- ⑤家庭学習の充実

3 『自閉症の僕が跳びはねる理由』(東田直樹)

自閉症の感覚を知った上での対応が必要である。

4 中学生の活躍

県中学総体の結果を説明。

5 その他

各種研修・事業等の様子を説明。

6 スポーツに関する事務の町長部局への移管について

(鈴木教育長より内容説明)

7月27日に開催されました総合教育会議におきまして、スポーツに関する事務の町長部局への移管について説明がありました。

その件に関しまして教育委員の皆様方からご意見を頂戴したいと思います。

町長及び副町長からの説明の要旨につきましては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律が平成19年度の改正によりまして、スポーツに関することは教育委員会の職務権限とされていたものが、条例を定めることにより、地方公共団体の長が管理及び執行をすることが可能になりました。ただし、学校体育に関することは除かれ、学校体育は教育委員会の職務のままとなります。

総合教育会議における説明では、スポーツに関することを町長部局に移管することによって、町として4つの効果が期待できるとしています。

1点目は、白石川右岸河川敷等整備事業による「おおがわら千本桜スポーツパーク」を活用した魅力あるまちづくりが推進できること。

2点目は、スポーツを通じて、健康寿命の延伸、医療費抑制、地域コミュニティーの活性化などの社会的課題の解決が図れること。

3点目は、能率的な行政運営の推進が図れること。

4点目は、体育館施設の指定管理制度を維持し適切な施設運営を行うため、町長部局が中心となってモニタリングを強化するなどの管理運営が図れること、の4点です。

本日、教育委員の皆様には、町長部局の考えを踏まえていただき、学校体育を除くスポーツに関することを町長部局に移管することについて、ご意見を賜りたいと思います。

舟山委員	大河原町は健康に関する取組みを先進的に行い、素晴らしいと思う。総合的に町民の健康を考える意味では、町長部局への移管は妥当で効率的である。賛成です。
------	---

一盃森委員	移管については問題ない。ただし、教育委員会で担当している学校体育以外の健康づくりとの線引きを明確にしておく必要がある。総合教育会議での説明で、すごく幅広い事業と感じており、教育委員会と町長部局の組織を横断的に進めていくのが大事。 名称の問題。「(仮) スポーツ振興課」では、従来のスポーツ振興と変わらないのではないかと。例えば、「地域スポーツ振興課」や「健康スポーツ振興課」の方が、町長部局のねらいが反映でき、町民の方も、分かりやすく示しやすいのではないかと。思う。
-------	--

丹羽委員	大河原町は宮城県で長寿一番。町長部局へ移管し、ますます健康長寿になるのは素敵である。移管については、賛成です。
小山委員	移管については賛成。ただし、障害のある方の意見も取り入れて進めてほしい。身体的や精神的にも障害のある方が体を動かせるよう、また、小さな子どもから高齢者まで幅広い方が利用できる環境を作ってほしい。健康寿命を延ばすことにつながる。
鈴木教育長	(委員全員に諮って) 町長部局へ移管することについて同意する。

(2) 課長報告

教育総務課長

行事予定について

生涯学習課課長

行事予定について

10 次回教育委員会の開催日程について

鈴木教育長 | 次回の定例教育委員会は令和4年9月16日(金)午後1時から開催する。

11 閉会宣言 午後3時10分

令和4年9月16日

署名委員

署名委員